

幼保連携型認定こども園 出雲崎こども園 年間指導計画

年間目標	<ul style="list-style-type: none"> 愛情豊かな関わりの中で生理的・心理的な欲求を満たし、信頼感や愛着関係を育む。 「睡眠・食事・あそび」のリズムを大切にし、安定した生活を送る。 保育者との関わりの中でもものに関心をもち、感覚を十分に育む。
------	---

1年間の評価	
--------	--

	I期(4～5月)	II期(6～9月)	III期(10～12月)	IV期(1～3月)
健康支援および災害への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種歴や感染症罹患歴、アレルギー等を把握し、職員間の共通理解を図る。 様々な災害に備え、緊急時の役割分担を共有し、おんぶや抱っこで避難する方法を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 湿度が高くなり、カビが繁殖しやすいため、室温や湿度に注意し、衛生的な環境に留意する。 夏の疾病と皮膚疾患の予防に努める。 台風や豪雨災害時に備え、雨具や防災頭巾を着用した避難方法に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 換気や湿度管理、玩具の消毒等をこまめに行い、感染症の予防に努める。 嘔吐や下痢の際は、迅速かつ適切に対応することができるよう共通理解を図り、感染拡大の予防に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 鼻水や痰、咳など体調の変化に留意し、感染症などの早期発見に努める。 大雪による停電や凍結によるエアコンの不具合に備え、温かい衣類を用意しておく。

		57日～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～9か月未満	9か月～12か月未満		1歳～1歳6か月未満	1歳6か月～2歳未満
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> 視線が合うことが増える。 快と不快を感じ分ける力が芽生える 物を追視したり、音のする方を見たりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 滑らかにすり潰した物を食べる 腹ばいすると、ぐっと頭を持ち上げる。 声を出して笑ったり、「アーアー」と喃語でこたえたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 舌で潰せる固さのものを食べることに慣れる。 興味を抱いたものに向かってずり這いで移動する。 お座りが安定し、両手を自由に使って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 手づかみで意欲的に食べようとする。 這い這いや掴まり立ち、伝い歩きをし、行動範囲が広がる。 興味を抱いたものを指さして伝える。 	こどもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 幼児食へと移行する。 歩いたり、登ったりと全身運動が盛んになる。 友だちの傍にいたり、顔をのぞき込んだり、親しみをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 味や食感の好みが見られ始める。 食具を使う。 尿意を感じられるようになる。 生活体験を再現したり、しぐさを模倣したりする。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> 生理的欲求を満たし、心地良さを感ずる生活リズムで過ごす。 愛情深く接してもらい、人と関わる喜びと心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> スプーンから離乳食を食べることに慣れる。 あやしてもらったり、保育者を介して、ものに関心をもち、かかわろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな味や舌ざわりの食事を楽しむ。 身の回りのものに関心をもち、目や手、口などの感覚器官を使って探索する 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べたいという意欲を育む。 好奇心を抱いたものに向かって移動し、十分に探索する。 指さしを用いて自分の思いを伝えようとする。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 様々な味付けや調理形態の食事を味わい、幼児食に慣れる。 歩いて移動したり、全身を使った運動を楽しんだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食具を使い、自分で食べようとする。 保育者と友だちと一緒に、見立てあそびを楽しむ。
内容	養護の側面	<ul style="list-style-type: none"> 生理的な欲求に丁寧に寄り、衛生的な環境の中で安心して過ごすことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食は、家庭や栄養士・調理師とも連絡を密にし、焦らず、様子を見ながら進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 母体免疫から自己免疫と移行する時期のため、体調の変化や感染症に留意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べたい意欲や伝えたい思いを受容し、一つ一つの行為に対して丁寧に言葉で応える。 	養護の側面	<ul style="list-style-type: none"> しぐさや喃語で要求や拒否を示すため、気持ちを十分に受容し、自我の芽生えを育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 排尿感覚を把握するとともに排尿のサインを見てトイレに誘い、排泄の心地よさを感じられるようにする。
	健康	<ul style="list-style-type: none"> オムツ交換をしてもらい、衛生的な気持ちよさを感じる。 ゆったりとした雰囲気の中で安心して、ミルクを飲む。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を動かしたり、動かしてもらったりすることを喜ぶ。 舌を前後に動かしながら、なめらかにすり潰したものを嚥下する。 	<ul style="list-style-type: none"> ずり這いという方法で自ら移動できる喜びを感じる。 舌と上あごを上下に動かし、潰しながら食べる。 スプーンやコップから水分をすするように飲む。 	<ul style="list-style-type: none"> 這い這いや掴まり立ちで移動する。 舌やあごを動かす、歯茎でつぶしながら食べる。 ストローでも水分を少しずつ飲む。 	健康	<ul style="list-style-type: none"> 歩いたり、しゃがんだり、登ったり、方向を転換したり、自由に体勢を変えたり移動したりすることを楽しむ。 自分のペースで、食べたいものから食事を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 食具を使い、自分で食べる喜びを味わう。 トイレに関心をもち、便器に座って排泄しようとする。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の応答的な関わりに心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不快感を泣きで伝えたり、快感を笑いや喃語で伝えたりする。 あやしてもらったり、表情や声でやりとりをしたりすることを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の保育士との触れ合いや関わりを楽しむ。 「いないいないばあ」の遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 物のやりとり「ちょうだい」や動作のやりとり「ばいばい」を楽しむ。 関心のあるものを指さし、発見の喜びを伝える。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 友だちに親しみをもち、近寄りたり、顔を触ったり、関わりをもとうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちの遊びに関心をもち、同じ場所で模倣しながら遊ぶ心地よさを感じる
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 動くものに関心をもち、注視する。 音のする方を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> 目の前のおもちゃに関心をもち、自分から手を伸ばして触ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> おもちゃを両手で持ち、なめたり、かんだり、しゃぶったりしながらものの性質を確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌や手あそびに心地よさを感じ、手をたたいたりしながらリズムを感じる。 つまむ、入れる、引っ張るのあそびを楽しむ。 	言葉	<ul style="list-style-type: none"> 友だちに親しみをもち、近寄りたり、顔を触ったり、関わりをもとうとする。 盛んに喃語を発したり、笑い声をあげたり声を出す面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 知っている言葉で要求を伝えようとする。
環境	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠中の姿勢や体調の変化を注意深く観察し、SIDSの予防に努める。 視線を合わせ、表情豊かにゆっくりと語りかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 便の状態を細やかに観察する。 寝返りやうつ伏せ、ピポットターンなどの全身運動を保障する。 睡眠中の姿勢や寝返り、毛布の位置に注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 咀嚼や嚥下の様子をよく観察し、口腔機能の発達に合わせて離乳食を進めていく。 座った状態からの転倒を防ぐとともに、周囲に目を配る。 	<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がりや伝い歩きの際の転倒に注意する 誤飲しやすい玩具・道具・素材に注意する。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 高いところに登ったり、台の上で立ったりするため、転落に注意する。 安全に体を十分動かすことができる場所を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちとの関わりの中で、「かみつき」で気持ちを表現することがあるため、大きな怪我に繋がらないよう見守るとともに、気持ちを十分に受容する。 	
表現	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠と哺乳を中心とする生活リズムのため、家庭と園で情報を共有し、安定した生活の連続性を保障する。 	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食の進み具合や便の状態等の情報を共有するとともに、口腔衛生の方法を知らせる。 スキンシップの大切さや窒息に関する情報を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーを起こしやすい食材の摂取状況を教えてもらう。 盛んに姿勢を変えたり、ずり這いしたりするため、安全面に配慮することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 窒息や誤飲の配慮事項について共通理解を図るとともに、応急処置の方法を知らせる。 手づかみ食べの調理方法や発育との関連の情報を提供する。 	表現	<ul style="list-style-type: none"> 動きやすく、安全な活動を保障するため、体のサイズに合う衣類を用意してもらう。 転倒や転落に関する情報を提供し、事故を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 排泄後や食後に自分で着替えようとする姿がみられ始めるため、着脱しやすい衣類を用意してもらう かみつきに関する情報の共通理解を図る。 	
保育者の配慮					保育者の配慮			
家庭との連携					家庭との連携			